

Rotary International
2011～2012こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

中村ロータリークラブ

例会記録 (2011～2012)

会 長/大 杉 幸 雄
幹 事/杉 本 一 博
会報委員長/嶋 村 晃

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2253

第2384回 平成24年3月28日 (晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ ジン・シュウミン氏(四万十市国際交流員)

4月4日のプログラム：東 邦彦会員 (次期ガバナー補佐)

4月11日のプログラム：会員スピーチ

【会長挨拶】大杉会長

- ・本日のお客様のご紹介です。
四万十市国際交流員のジン・シュウミン様、
四万十市企画広報課主査 永田佳久様です。
- ・だいぶ暖かくなり桜の咲く季節となりました。
この時期は別れがあり、また出逢いがあります。「きんさん・ぎんさんテレホンカード」のお話をする予定でしたが、報告事項などたくさんあるようですので、次回にします。

【幹事報告】杉本幹事

- ・RI本部より
4月のロータリーレート 1ドル=82円
- ・須崎RCより創立30周年記念式典のご案内
6/3 (日) 須崎プリンスホテル
- ・宿毛RCよりゴルフコンペのご案内
4/8 (日) 四万十カントリークラブ
- ・四万十RCより例会変更のお知らせ
4/3 (火) 18:00～夜間花見例会
- ・高知市内RCより3/25～事務所移転のお知らせ
三翠園ホテル→高知新聞放送会館1F
- ・四万十市民憲章推進協議会より「春の交通安全運動」の街頭指導協力依頼 (土佐中村郵便局前)
4/10(火)・11(水) 朝7:40～8:20

- ・27日、中村を訪れた、第2630地区三重県の熊野RCの田端様よりお土産を戴きました。
- ・中村商工会より薮中三十二氏(前外務省次官)特別講演会のご案内 4/13(金)午後7時～9時 新ロイヤルホテル四万十 前売券/1,500円
- ・残念な報告です。谷岡会員が今月末で退会することになりました。

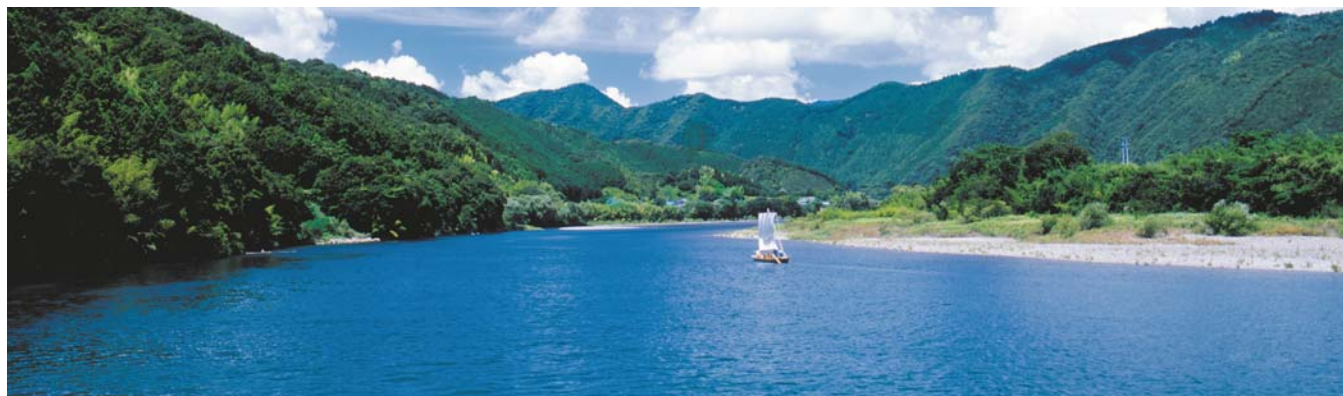
【会員報告】谷岡会員

諸事情により今月末で退会することになりました。2007年8月入会ですので5年余りでしたが、いろいろな出逢いあり、またお話など大変勉強させていただきました。街で会ったときなど、今後ともよろしくお願い致します。

掛水会員

一年半でしたが、ありがとうございました。ロータリーソングをやっと覚えたところでしたが、本社へ転勤ということで、今月末に引越します。幡多に来まして、393本の記事を書きました。よい思い出になると思います。

そのうち、ゴルフコンペに参加させていただきます。いろいろとありがとうございました。



本日のプログラム ゲストスピーチ ジン・シュウミン氏（四万十市国際交流員）



みなさん、こんにちは。北京から来ている国際交流員のジン・シュウミンと申します。

二週間前の日曜日をもって一年間経ちました。昨年3月に発生した「東北地方太平洋沖地震」の早い復旧を重ねてお祈り申し上げます。困難な局面におかれても、社会奉仕活動に力を注ぐロータリークラブの皆さんを心から尊敬します。

一年間がこんなに短いものかと考えている今です。国際交流員のポストは1年間しかないけど、結んだ絆はこれからも続けていきたいと思っています。

昨年度の交流員は中国の歴史や地理、食文化、教育制度などを紹介したということもあって、今回は四万十市、そして高知県での国際交流員としての仕事に対する感想を述べさせていただきたいと思います。

小中学校を訪問し、両国間のつながりや中国の地理、自然、文化などを話したり、生徒からの質問に答えたりして、笑顔いっぱいの学生たちと素敵な国際理解の時間が送れたと思います。『合わせ聞けば明るく、偏り信ずれば暗い』というのは、限られているメディア報道や文字を鵜呑みにしてしまうと、どうしてもその情報が『ステレオタイプ』になりがちで、外国の事柄を正しく認識するためには、多くの方向から見て知ることが必要不可欠です。それは国際理解のきっかけだけではなく、生活においても多くの方向から物事を考える習慣につながればうれしいと思いました。

国際理解と経済発展に欠かせない観光について、日本と高知県が注いでいる努力を実感しています。去年の9月にはコグウェイ四国という観光事業に通訳

として参加しました。それは世界中からプロとアマチュアの選手を招待して、川沿いの道をサイクリングして四万十川と四国を満喫させるのが目的でした。オーストラリア、アメリカやイギリス、アジアの国々から外国人の報道陣も来ていました。地域文化や四国の魅力をアピールするのは一時的なことではなく、これからも効果のある活動を期待しています。

姉妹都市交流や経済提携についてですが、昨年末、中国の有名ジャーナリスト「莫邦富」氏が来高し、尾崎知事と会見。「より情熱をもってウィンウィン関係となれる提携関係を作るべきだ」などの内容でした。「中国の会社は高知工業大学を通して高知県で工場を開く予定で、160人ぐらいの現地雇用を」というニュースもありました。

四万十市につきましても安徽省亳州市と絆を築き、15年間、友好訪問や民間交流が行われています。10月の表敬訪問では記念碑と記念植樹、「檜の家」モデルハウスや四万十の里、アロインス工場とトンボ公園などの視察先に足を運びました。

四万十市民は「充実している上、静かで落ち着いた生活を楽しんでいる」といつも感じています。一番感動したのは蛍です。輝いている蛍を満喫できた理由は簡単そうに見えますが、実は奥深い意味を抱いていると思いました。

中日両国だけではなく、世界各国はグローバルな金融危機、気候変動、食糧問題や他の難題に共に立ち向かっている人間同士として、手を繋いで協力すべきだと思います。

協力するためには、真実、公平、友情、皆のためになることを信じること、いいところを継続させてよくない点を変化させることが重要です。ロータリークラブの綱領と四つのテストを知ってから、国際協力の必要と可能性をよりいっそう感じてきました。このような交流と理解のために、微力ながら努力していきたいと思っています。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

新田会員：皆様のおかげで「財団の友」クラブとなりました。ご協力に感謝いたします。

谷岡会員：いろいろとお世話になりました。

掛水会員：大杉会長にゴルフ教えていただき、ありがとうございました。次回はニアピン賞がとれるように頑張ります。

【出席報告】

- ・会員総数47名（免除会員1名）
- ・本日の出席/32名 71.11%
- ・先週の訂正 M3 77.78%→84.44%

